

各 位

病虫害防除所長

平成 2 2 年度病虫害発生予察技術情報資料 (第 6 号) の送付について

普通期稲のコブノメイガ発生状況について

本種はセジロウンカ・トビイロウンカと同じく海外からの長距離移動性害虫で、本年は全国的に飛来量が多く、九州・中国地方を中心に注意報が発令され、高知県内も多発生傾向で推移しています。つきましては、県内の水稲（普通期稲）において、7月中下旬に実施したコブノメイガの発生状況の調査結果について資料を送付しますので、今後のコブノメイガの発生動向に注意するとともに、防除指導の参考にしてください。

記

本年のコブノメイガの発生状況は、表 1 のとおり県東部以外の中央部、中西部及び西部で発生面積が多くなっています。また、現在、普通期稲の生育ステージは幼穂形成期から出穂期前後と、収穫までに日数がかかる圃場が多いと思いますので、被害を出さないように注意してください。コブノメイガは、窒素過多で葉色の濃い稲に被害が集中する傾向があるので、特に注意してください。

防除にあたっては、農薬安全使用の遵守および周辺の食用農作物への飛散防止対策についてご指導をよろしくお願いします。

また、本年はトビイロウンカについても西部と東部で多発傾向にあります。高密度となると、8月下旬頃に坪枯れ被害を生じる可能性があるため、ほ場での発生には注意してください。

第 1 表 普通期稲におけるコブノメイガの発生面積 (7 月末現在、ha)

	栽培面積	本年(発生面積率)	平年
東部	476	47.6 (10.0%)	53.0
中央部	1440	160.5 (11.1%)	71.5
中西部	2550	615.2 (24.1%)	254.4
西部	1048	382.5 (36.5%)	184.8
合計	5514	1205.8 (21.9%)	563.7

